

いつまでも健やかに・・・

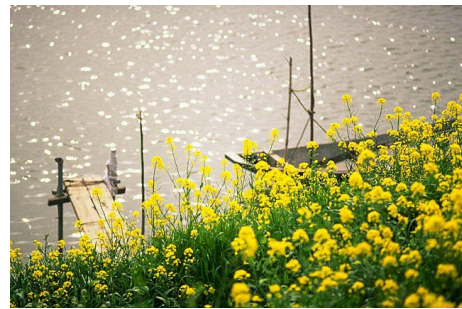
——私たちの願いです。

医療法人玉昌会 加治木温泉病院

発行 平成26年4月1日

広報誌 第33号

# すこやかか加温



お体をご自愛くださいませ。



目	次
巻頭言（ 院長 高田 昌実 ）	2
加治木温泉病院 理念 基本方針	3
患者さまの権利宣言	3
新入職員の紹介	4～5
新入職医師の紹介	6
イベント・行事	7～11
「五月病」は正式な病名にあらず！？ （心理相談室）	12～13
お薬と食べ物の組み合わせ（薬局）	14～15
“コレステロール”と“中性脂肪”の違い （栄養室）	16～17
今日からできる！嚙下体操！ （総合リハビリテーションセンター）	18～19
地域包括ケアシステムについて （地域医療連携センター）	20～21
セカンドオピニオンにつままして	22
個人情報保護方針	23
氷山の一角・編集後記	24

医療法人 玉昌会 行動指針

低 賞 感 微

低：全てに謙虚な気持ちで接する

賞：お互いを思いやり敬意を払う

感：全てに感謝する

微：微笑みを添えて態度で示す

## 巻頭言

この度、山下正策前加治木温泉病院院長の後任として、院長に就任しました理事長の高田昌実です。就任に際してご挨拶をさせていただきます。私は7年前に玉昌会に戻りましたが、今回院長として現場にも復帰いたします。看護・介護部門責任者に本田総師長、事務方責任者に田中次長が就任しました。又前任の山下前院長は名誉院長として、今後も私を補佐して頂きます。富永前総師長も顧問として病院に残ってもらいました。今回この様な新体制でスタートしますが、皆さん宜しくお願いします。

病院運営方針は、山下前院長の運営方針を引継ぎ、法人理念の基に施設に集う方々が安心できる環境と働きやすい職場環境の構築に努め、法人行動指針を順守し医療・介護サービスを通して、地域が必要とするヒューマンライフライン構築、国策である地域包括ケアシステム構築に協力したいと思っています。

世界の情勢や国内の政治や経済情勢も、大きく医療・介護サービスに影響します。一昨年の年末に自民党安倍政権がスタートして、早くも2年が経ちます。今回の安倍政権は衆議院と参議院の過半数を与党が占め強靱で、大きなミスもなく政権運営が成されています。しかし、4月には消費税8%の増税もあり、日本経済にも影響が出る事が予測され、政権運営にも影響が出るかも知れません。この様な状況下でも、政権は「社会保障と税の一体改革」の基に、医療と介護分野にも確実な改革を進めています。

医療・介護サービス問題は、現場の話だけでは無く医療・介護サービスに掛かる、今後益々増大するお金（財源）の問題になり、重要な政治の話になっています。現政府の最大の課題は、10年後の団塊世代が75歳以上になる2025年以降の社会保障費の財源が無い時代を、如何にして地域包括ケアシステムの構築で乗り切るかが最大の目的です。その最初のスタートが今年度の診療報酬改定で、政府は医療関係者にも社会の要望の変化に沿った形で、日本の医療体制の考え方を変える事を求めています。特に医療提供体制の再構築が重要で、一番目が高度急性期を担う7：1看護基準体制の改革があり、急性期医療機関には病院運営の根幹を変えるべき内容です。二番目は私共が担当している慢性期医療の改革で、今回療養病床にも明確に退院を目的とする事が決まりました。当法人では以前から在院日数の短縮を目標にしてきましたが、今回の改正でその目標の必要性が明確になりました。三番目が地域で支える在宅医療の推進です。来年は介護保険改定の年に当たり、介護分野にも大きく変化も求められると思われれます。

今後も時代や社会の変化を敏感に察知し、皆さんと共に「変化、変化、進化」して参りたいと常に意識しています。何かと至らぬところもあろうかと思いますが、前任者同様変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



医療法人玉昌会 理事長  
加治木温泉病院 院長  
高田昌実

## 《理念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療および介護サービスを提供します。

## 《基本方針》

1. 患者さまの尊厳と権利を尊重した医療・介護を目指します。
2. 患者さまの視点に立ち、良質で安心・安全な医療・介護の提供に努めます。
3. 地域でのニーズに沿った医療を担い、入院から在宅までの一貫した医療、介護の提供を目指します。
4. 病院および在宅サービス事業部の健全な運営を行い、安心して働きがいのある職場作りに取り組みます。
5. 健診や保健指導により地域住民の健康管理や病気および介護予防に取り組みます。

## 患者さまの権利宣言

すべての人は、人格を尊重され健康に生きる権利を有しています。患者さまにおかれましては、健康を回復し、維持増進するために、医療スタッフの助言協力を得て、患者さまの選択のもとに、最善の医療を受ける事は人として基本的権利です。

### 【平等で良質な医療を受ける権利】

患者さまは本人の経済的社会的地位、年齢、性別、疾患の種類などにかかわらず平等で良質な医療を受ける権利が有ります。

### 【選択の自由の権利】

患者さまは担当医師および医療機関を選択し、または変更する権利があります。またいかなる時でも他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

### 【知る権利】

患者さまは、自らの状況（病名、病状、検査結果）について納得するまで十分に説明を受ける権利があります。

## 新入職医師のご紹介

平成26年4月1日より、2名の新しい先生が入職いたしました。



村田 隆二 医師

専門資格：

- ・日本外科学会 外科専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医

一言：

幅広い疾患に対応します。お気軽にご相談下さい。  
よろしくお願いいたします。



堀ノ内 啓介 医師

専門資格：

- ・日本リハビリテーション医学会  
リハビリテーション科専門医

一言：

脳卒中のリハビリテーションが専門になります。  
よろしくお願いいたします。



## 第3回地域連携NetWorks情報交換会

平成26年2月21日（金）、かごしま空港ホテルにて「第3回地域連携NetWorks情報交換会」が開催されました。

今回は89名の方々に出席して頂き、ながた脳神経外科の理事長永田先生、よしだ内科クリニックの院長吉田先生にもお越しいただきました。また、遠方からは伊佐市の北薩病院からもご出席して頂きました。

ご出席して頂いた皆様からは、「顔の見える連携が図れて良かった」という声を多数頂きました。今後も、病院・施設関係者の方々とのネットワーク作りや顔の見える情報交換会の場として開催していけたらと思います。



## 加治木駅伝

第47回加治木駅伝競走大会に加治木温泉病院2チームが参加！

平成26年1月25日（土）、第47回加治木駅伝競走大会が開催されました。

若干暖かめで曇りのコンディションの中、例年参加の当院から今回は2チームがエントリー！女性も久しぶりに4名が参加。6区間12名がたすきをつなぎ、力走しました。成績はふるいませんでしたが、走り終わった選手みんなは満足げな様子でした。「来年は是非、女性チームも作りたい！」そんな意気込みも参加者からいただきました。来年はみなさんも一緒に走ってみませんか。



## 定期公演会「未来社会をあなたと共に」

平成26年2月1日（土）、かごしま空港ホテルにて、「平成25年度始良高齢者保健福祉圏域地域リハビリテーション研修会」が開催されました。

今回は、五反田内科クリニック 院長 五反田満幸先生をお迎えして、「在宅医療の実際」について講話して頂きました。

「生活の質」と「医療の質」のバランスを考え、個々の対象者に寄り添った医療を実施されている先生のお話に参加者は興味深く聞き入っている様子でした。

経験談や専門的な話を分かりやすく、ユーモアを交えてお話して下さい、参加者の理解を深める良い機会になったと思います。



### 院内研究発表会の模様



# 院内研究発表会

平成26年3月20日（木）、当院1階食堂談話室にて、第17回院内研究発表会が開催されました。各部署より、6演題の発表があり参加者一同、興味深く聞き入っている様子が見られました。

## 演題プログラム

1. 一般病棟における認知症患者に対するタクティールケアの効果と課題  
安田 あゆみ      他 <2階西病棟>
2. ケアスタッフによる透析患者の生活機能向上への取り組み  
川影 真由美      他 <2階東病棟>
3. 地方都市慢性期医療における2025年に向けたチーム医療・介護の取り組み  
～回復期リハ病棟の重症度・在宅復帰・重症患者回復率と自院の強み～  
山元 直子      他 <医事係>
4. 身体拘束を行わない抜針事故防止への取り組み ～ストッキングを活用して～  
松尾 由弥      他 <腎センター>
5. グループホームにおける看取りへの取り組みについて  
前田 智美      他 <グループホーム 木もれ日>
6. 非喫煙者と喫煙者のストレスコーピングに関する比較検討  
～当院職員を対象として～  
竹元 鳴美      他 <特定健診室>

## サブ管理者フォローアップ研修

平成26年1月24日（金）、サブ管理者フォローアップ研修が行われました。まず、九州人事マネジメントの三原先生により目標達成のための要因分析についての講義が行われました。つぎに、グループ内で各自発表を行い、午後からは各グループの代表による発表が行われました。工程表を使用したスケジュール管理や、業務改善への取り組み、働きやすい職場になるための部下への姿勢等、様々な部署での取り組みを聞くことができました。

今回の研修での学びや気づきを活かし、スキルアップに努めたいと思います。

## 新入職者研修

平成26年3月10日より約2週間の日程で、平成26年度の新入職者オリエンテーションが行われ、25名の新入職者が参加しました。

高田昌実理事長の講話から始まり、社会人としての心構えや施設見学、移乗・移動介助の実習、コミュニケーション研修、接遇マナー研修、グループワークと様々な内容の研修を受けました。

最初は緊張した様子だった新入職員同士も、研修を通し仲を深めていくことができました。初心を忘れずに、仕事をとおして自己の成長につなげられるように切磋琢磨し、職務の精励をして参りたいと思います。





# 新入職者のつどい

平成26年4月5日（土）始良市文化会館加音ホールにて、第25回玉昌会グループ2013年度入職者・2014年度新入職者のつどいが開催されました。

当日は、高田昌実理事長より挨拶及び講話「時代の先駆者になれ」をいただき、参加者一同熱心に耳を傾けていました。また、緊張した面持ちの入職者の姿を目にし、初心を思い出し身の引き締まる思いがしました。



## ～式次第～

1. 新入職者向けDVD上映
2. 理事長挨拶・講話  
医療法人玉昌会 理事長 高田 昌実  
演題「時代の先駆者になれ」
3. 幹部職員紹介
4. 新入職員紹介
6. 誓いの言葉 高田病院 栄養室 吉田 百合奈
7. 閉会の言葉 高田病院 院長 萩原隆二
8. 新入職者写真撮影（集合写真）

# 五月病

心理相談室

## 「五月病」は正式な病名にあらず！？

5月は大学生や社会人も新しい生活を送りはじめてから1ヶ月。

ちょうど新しい環境にも慣れ始める頃ですが、新生活へ順応するための疲れや人間関係などのストレスを感じはじめる人もでてきます。

無気力や意欲のなさをなど、まるで鬱病にでもなったような症状を感じるほどです。このような症状は『**五月病**』と呼ばれています。

五月病は学生から社会人まで幅広い年代のかたに見られ、社会人では新人研修が解ける6月頃にこのような症状が出始める人もいます。そのため、『**六月病**』といわれることもあるほど。

一般的にはこのような時期にこのような症状がでることを五月病、もしくは六月病と呼んでいますが、五月病は正式な病気とは認知されていないようです。ですから医学的な正式名称がなく、定義も決まっているわけではありません。

このような症状で病名をつけるとすれば、『**適応障害**』という精神的な病気に部類されるようです。

通称

五月病・六月病

医学用語

適応障害

### 適応障害とは…

適応障害とは、ある社会環境においてうまく適応することができず、さまざまな症状があらわれて社会生活に支障をきたすものをいいます。会社では職場不適應、学校では不登校、家庭では別居・離婚などといった形であらわれます。

適応障害の出現に関しては個人要因が大きな役割りを果たしていますが、もし原因となるストレスがなければこの状態はおこらなかったと考えられることがこの障害の基本的な概念です。

適応障害の症状はいろいろで、不安、抑うつなどの情緒的な症状、不眠、食欲不振、頭痛、腹痛などの身体症状、遅刻、欠勤、過剰飲酒などの問題行動があります。

## 「五月病」の主な原因

環境が変わることでストレスがたまる人が多いようです。そのため、進学や就職などの環境の変わり目に五月病になる人が多く見られます。そして、五月病になる原因はストレスだとよく言われています。

それでは、5月のこの時期にストレスがたまる原因は何なのでしょう？

- 環境と人間関係の変化に対して、うまくなじむことができない。
- 悩みを抱えているが、相談できる人がいない。
- ゴールデンウィークなどの長期休暇により、張りつめていたものから解放され、やる気がなくなってしまった。
- ひとり暮らしをはじめ、自分で何もかもやらなくてはいけなくなった。
- 就職や受験を目標に頑張ってきたがその目標を達成してしまい、次の目標が見つからない。
- 理想と現実のギャップについていけず、不安ばかりが募る。
- 新生活でのリズムをつくることができない。

等があります。

ここに挙げた理由は一部ですが、このような事でもストレスを感じてしまうことがあるのです。

次に、実際にストレスを減らすために最も効果的な方法をご紹介します。

まず、「気持ちをほぐす方法」です。常日頃から、カラオケで発散したり、深呼吸をしたりマッサージを受けたり、アロマをたいたりしている方がいるかもしれません。これらの方法はストレス解消に向けた一つの有効な手段です。また、強いストレスを感じる場面から避けるなど「ストレスをかわす」ことも有効です。

しかし心理学では、ストレスが解消される一番の方法は「ストレスを感じる場面向き合い、具体的に対処方法を考える」という事が、様々な研究で明らかになっています。例えば、「人と話すと緊張する」方であれば、「人と接することに慣れる」「会話スキルを身に着ける」などの方法が有効です。「仕事が難しい」ためにストレスを感じている方は「仕事を覚える」「上司に指導を受ける」など、仕事をこなせるように工夫することが有効です。

しかし、ストレスに向き合うのは大変な作業です。時に逃げ出したくなることもあります。そのため、ストレスに向き合う際には、自分を支えてくれる仲間・友人・家族や、専門家であるカウンセラーなどのサポートがある方が取り組みやすいです。日頃から人間関係を大事にしたり、相談できる専門家を知っておくといざという時に安心です。

# お薬と食べ物の組み合わせ

薬局

お薬と食べ物の組み合わせで、お薬が効かなくなったり強く効きすぎて副作用が出やすくなったりします。そんな組み合わせをご紹介します。

## 1. ワーファリンと納豆・青汁・クロレラ

ワーファリンと納豆の組み合わせは有名ですが、青汁やクロレラもワーファリンの働きを弱めます。

ビタミンKはワーファリンの働きを弱めます。

納豆の菌が体の中でビタミンKを作るため、納豆を食べるとワーファリンの働きが弱まります。

ビタミンKはもともと青野菜に多く含まれています。青汁やクロレラには青野菜の栄養が凝縮されているためビタミンKがたっぷり含まれており、納豆同様にワーファリンの働きを弱めてしまいます

## 2. 抗生物質と牛乳

牛乳と一緒に飲むと、一部の抗生物質の働きが弱くなってしまいます。

牛乳だけでなく、ミネラルウォーターの硬水にあたるものや、酸化マグネシウム(マグミット)なども同じようにお薬の吸収を抑え、働きを弱めてしまいます。

牛乳は他のお薬の働きを弱めることもあります。

逆に、子供用の粉薬で牛乳に混ぜると飲みやすいものもあります。

薬局の窓口で、どちらにあたるのか確認してみてください。



## 3. 粉薬とスポーツ飲料

一部の抗生物質は苦味が強くなってしまいます。

一部の粉薬は、苦味を隠すため甘味料でお薬の成分を覆って飲みやすくしてあります。

酸味のある飲み物、スポーツ飲料や100%のオレンジジュースなどは甘味料のカバーをはがしてしまい、苦味を感じやすくしてしまうので、子供に薬を飲ませるときは上記の飲み物は使わないようにしましょう。

痰を出しやすくするお薬の一部も同じような働きをしてしまいます。袋が分けられているときは、一緒に飲んで大丈夫か薬局の窓口で確認してみてください。



#### 4. グレープフルーツなどの果肉が白色の果物

多くのお薬の副作用が出やすくなります。

グレープフルーツ、文旦、ポンタン、サワーポメロ、夏みかんなどの果実はもちろん、ジュースも同様にお薬の働きを強くしてしまいます。

影響を受けるお薬は、「一部の高血圧治療薬や高脂血症治療薬、免疫抑制剤、抗血栓治療薬など」があげられます。

お薬を飲む前に、薬局などでご確認ください。

#### 5. コーヒー、紅茶、コーラ、ほか炭酸飲料

お薬の働きを、強めたり弱めたり・・・

一部のお薬の、体への吸収を抑えることで働きを弱めたり、逆に副作用を出しやすくなりしてしまいます。

お薬を飲むときは上記のような飲み物は避けましょう。



#### 6. アルコール

お薬の副作用を強めます

アルコールを飲むことで、多くのお薬の副作用を強めてしまいます。診察の時に、毎日どの程度飲酒しているかを医師にお伝えください。

治療が必要な方は、飲酒は控えていただいた方がお薬にも、体にも良いですね。

お薬は飲み物の影響を受けやすいので、できる限りお水や白湯で飲みましょう。

このほかにも、お薬に影響を与える食べ物があるので、  
ご自分の飲んでいるお薬は大丈夫か、薬局などで聞いてみてください。



お薬は正しく使って  
しっかり効かせてくださいね

# “コレステロール”と“中性脂肪”

栄養室

毎年、健康診断で基準値を超えていて気になってはいるけれど、自覚症状もないし…という方はおられますか？

コレステロールも中性脂肪も脂質異常症の診断項目で、増えすぎると動脈硬化を引き起こすため、同じようなものだと認識している方も多いのではないのでしょうか。どちらも体内の脂肪という意味では同じですが、体内での働きや食生活で気を付けるポイントは異なりますので違いを紹介します。

## <コレステロール>

## <中性脂肪>

体内での  
役割

体内の細胞膜やホルモンの材料となり、エネルギー源にはなりません。

脂肪細胞の中に蓄えられている貯蔵用のエネルギー。必要に応じて脂肪酸になり、エネルギーとして使われます。

数値が  
上がる  
主な原因

- ・高カロリーの食事
- ・運動不足 ・野菜不足
- ・動物性脂肪（肉類・乳製品）の摂り過ぎ
- ・コレステロールを含む食品の摂り過ぎ
- ・更年期後の女性ホルモンの乱れ

- ・高カロリーの食事
- ・運動不足・甘い物や果物をよく食べる
- ・炭水化物（ご飯・パン・麺類）の摂り過ぎ
- ・お酒をよく飲む・魚をあまり食べない
- ・夕食の過食（夜遅くの飲食）

食事の  
ポイント

### ★卵、内臓類は控えめに！！

<コレステロールを多く含む食品>

卵類（鶏卵、たらこ、いくら等）

イカ、ウニ、レバー、丸ごとたべる魚

（ししゃも、しらす等）

※卵は1日1個まで、コレステロールが多い食品は1日1品までにしましょう。

### ★乳製品の摂り過ぎに注意！！

動物性脂肪の摂り過ぎを防ぐため、牛乳はコップ1杯（200cc）、低脂肪牛乳はコップ1杯半（約270cc）程度が目安です。

### ★中性脂肪を下げるには果物を適量に！！

果物はビタミン・ミネラルを補給できますが、糖分も多く含まれています。

<目安量>

バナナ1本、りんご1/2個、みかん2個等

### ★水分補給は水かお茶に！！

ジュースやスポーツドリンクは糖分を含んでいます。

### ★太り気味の人は減量を！！

標準体重を目標にしましょう。

標準体重（kg）

$$= \text{身長（m）} \times \text{身長（m）} \times 22$$

### ★飲酒は適量にする！！

### ★夕方以降は食べ過ぎ注意！！

夕方以降の飲食は脂肪を溜めやすくなります。どうしても遅くなってしまふ時は消化の良い物にしましょう。



## どちらにもあてはまる食事のポイント

### ★肉より魚や大豆製品を食べましょう！！

肉を摂り過ぎているとコレステロール値が上がりやすくなります。

魚の脂（DHA・EPA）には中性脂肪を下げ、血栓が作られるのを防ぐ作用もあります。

### ★間食はほどほどに！！

コレステロールが高い方は特に洋菓子を控えましょう。

クリームやバター等は動物性脂肪を多く含んでいます。和菓子には糖質が多く含まれているので、摂りすぎると中性脂肪の上昇にもつながるので気を付けましょう。

### ★野菜をしっかり食べましょう！！

野菜は毎食摂りましょう。

1食当たり、生野菜なら両手軽く1杯、加熱したものなら片手1杯が目安です。

### ★運動を取り入れましょう！！

30分以上を目安にウォーキング等の有酸素運動を行いましょう。



# 今日からできる！嚥下体操！

総合リハビリテーションセンター

## 「摂食・嚥下障害」とは？

「摂食」とは、外部から水分や食物を口に取り込む（食べる）こと。「嚥下」とは、外部から取り込んだ水分や食べ物を咽頭から食道を経て胃へ送り込む（飲み込む）こと。原因は様々ですが、これらの一連の流れのどこかに障害が起きることを「摂食・嚥下障害」と言います。

## 「嚥下体操」とは？

嚥下体操は、摂食・嚥下するときに用いる筋肉のリラクゼーションとストレッチとして役に立ちます。高齢者の方は食事前の準備運動として数分行うことをおすすめします。習慣とすることで、飲み込みに必要な口腔器官の筋力維持・向上につながります。

## 嚥下体操で誤嚥予防

嚥下体操をお薦めする目的の一つは「誤嚥予防」のためです。誤嚥とは、通常食道に行くべき食べ物や飲み物が、誤って気管へと入り込んでしまうことです。食べ物や唾液に含まれる細菌が原因で誤嚥性肺炎を引き起こす危険性もあります。嚥下体操により、口や舌などを動かすことで、唾液がよく出るようになり、飲み込みやすく食べやすくなりますので、誤嚥を防ぐことにもつながります。





## やってみよう！嚙下体操

### ① 姿勢



リラックスして、腰掛けた姿勢をとる。

### ② 深呼吸



お腹に手をあててゆっくり深呼吸する。  
(鼻から吸って口から吐く)

### ③ 首の体操



ゆっくり後ろを振り返る。  
(左右とも)

ゆっくり首を左右に倒す。

首をゆっくり左右に回す。

### ④ 肩の体操



両手を頭上に挙げゆっくり下げる。

肩を上げストンと下す。

### ⑤ 口の体操



口を開けたり閉じたりを繰り返す。

口をすぼめたり、横に引いたりする。

### ⑥ 頬の体操



頬を膨らませたりすぼませたりを繰り返す。

### ⑦ 舌の体操



舌を出したりひっこめたりを繰り返す。

口の両端をなめる。

舌で鼻の下、顎の先を触るようにする。

### ⑧ 発音の練習



「パパパ…」 「タタタ…」  
「カカカ…」 「ラララ…」  
「パタカラ…」をはっきり繰り返し言う。

# 地域包括ケアシステムについて

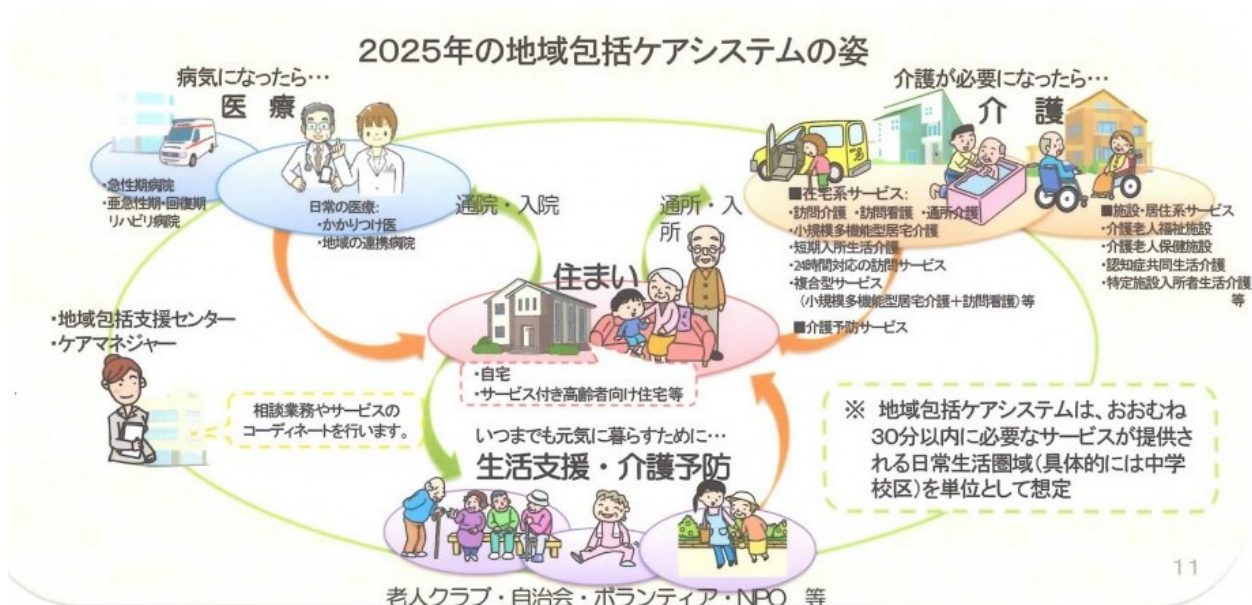
## 地域医療連携センター

最近よく聞く「地域包括ケアシステム」とは何でしょう。今回は「地域包括ケアシステム」について説明いたします。

### 「地域包括ケアシステム」とは？

団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）を目途に、介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、自分の住まい（自宅やサービス付き高齢者向け住宅など）から、おおむね30分以内の地域（日常生活圏域：具体的には中学校区を一つの地域としてイメージしています）に、必要なサービス「住まい」・「介護」・「医療」・「生活支援、介護予防」が、その地域で一体的に提供されるような体制を「地域包括ケアシステム」といいます。

厚生労働省は、保険者である市町村と都道府県によって、地域の自主性や主体性、特性に応じた「地域包括ケアシステム」がつけられていくことを推進してします。



出典：厚生労働省ホームページより「地域包括ケアシステムについて」

「地域包括ケアシステム」で考えられている  
「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」  
とはどのようなものなのでしょうか？

<p><b>住まい</b></p>	<p>自宅では認知症になっても自宅で暮らせるように、見守り、配食、買い物などの生活支援や、財産管理などの権利擁護サービス(成年後見制度など)といったさまざまなサービスが提供できるように推進されています。</p> <p>地域で認知症を応援する「認知症サポーター」ボランティア養成も取り組まれてきています。自宅で訪問診療や24時間対応の訪問ヘルパー・訪問看護などのサービスが受けられよう整備を目指しています。</p> <p>自宅以外でも一定の基準を満たした「サービス付き高齢者向け住宅」などの整備が推進されています。サービス付き高齢者向け住宅とは、生活指導、相談、安否確認、家事援助、緊急時対応等のサービスを行う賃貸などの住宅です。</p>
<p><b>医療</b></p>	<p>どのような状態でも、適切な医療が受けられるように、厚生労働省は救急医療機関・その他の医療機関、外来医療機関など、それぞれの機関の機能強化・明確化を行ない効率化に取り組んでいます。急性期病院→リハビリ病院→地域の病院・クリニックへと切れ目なく、医療サービスが提供できる体制作りが進められていきます。</p>
<p><b>介護</b></p>	<p>介護保険サービスになります。住宅系サービスと施設居住系サービスにわかれます。住宅系サービスは訪問ヘルパー、訪問介護、デイサービス、ショートステイなど。施設居住系は、特別養護老人ホームや老人保健施設、グループホーム等です。</p>
<p><b>生活支援 介護予防</b></p>	<p>元気に地域で暮らすために、生活支援や介護予防を行なっていきます。相談窓口は、市町村が設置する「地域包括支援センター」になります。地域包括支援センターは、虐待防止や、問題の早期発見、権利擁護や支援体制づくり、介護予防ケアマネジメント事業を行ないます。地域の医療機関、行政機関、保健所、介護保険のサービス事業所、老人クラブ、自治会、民生委員ボランティア、NPO法人などと連携しています。</p> <p>地域住民がお互いに助け合うことも重要です。ボランティア、老人クラブ、自治会、民生委員、NPO法人など住民組織の活動も期待されています。</p>

当院でも、入院された患者さまの疾病、障害に対して十分な医療技術を提供し、かつ医療の効率化に取り組んでいます。治療・介護がほぼ達成された患者さまの場合、退院について患者さま・ご家族さまと話し合い、今後の転帰先（在宅や施設など）について協議させていただきます。ご協力をお願いいたします。

介護保険サービスや身体障害者手帳など地域医療連携センターへご相談ください。

地域医療連携センターは

- ◆月曜日～日曜日（祝日を除く）午前8：30～午後5：30
- ◆地域医療連携センターにおいでになれない場合は、お部屋にもお伺いいたします。
- ◆お電話でのご相談もお受けしています。

## ●診療情報の提供及び開示につきまして

当院では、患者さま・ご家族より診療情報の提供（診療内容の説明）及び開示（カルテ開示）についてお申し出があった際は速やかに対応させていただくシステムになっておりますが、提供・開示の際に必要な条件書類等がございます。

～診療情報の提供及び開示の条件・必要書類・申請方法～

担当の窓口にて対応させていただきます。

御遠慮なく病棟スタッフへお申し出ください。

## ●セカンドオピニオンにつきまして

患者さま・ご家族が、当院で十分納得して頂き、患者さまが主体的に治療を受けて頂く為に、第三者である他医療機関の医師の診療を受けることについてはそれに応じさせていただいております。同じく他医療機関を受診されている患者さま・ご家族についても対応させていただきます。詳しくは地域医療連携センターまでお尋ね下さい。

※セカンドオピニオンとは、...

セカンドオピニオン＝第2の意見。主治医以外の医師の意見。



# 個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。

個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

## 1. 個人情報の収集・利用・提供

個人情報保護を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集・利用および提供に関する

内部規則を定め、これを遵守します。

## 2. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全

の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

## 3. 個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人（患者さま）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、

別に定める内部規則により、調査の上、適切に対応します。

## 4. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。

## 5. 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的

に見直し、改善します。

## 6. 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます。

# 冰山の一角（意見箱より）



患者さま・ご家族さまからのご意見・ご要望に関する回答

▼ 病棟入院患者の病室の換気をして欲しい。見舞時に感じます。

→大変申し訳ございません。換気に関しましては、患者さまの状況や気温の変化に配慮して行わなければならない為、時間を決めて行うことは困難な状況です。消臭剤の使用やオムツ交換・シーツ交換時を利用して換気を行っておりますが、至らない点も多くご迷惑おかけします。患者さまに適した環境で過ごして頂けるよう、今後より一層注意して参ります。またお気づきの点がございましたらお気軽にスタッフへお申し付けください。ご意見ありがとうございました。

ご意見箱は、外来と各階食堂談話室並びに腎センターへ設置してあります。患者さま・ご家族さまより頂きましたご意見に対して、当院では毎月開催しております「サービス向上委員会」にて検討し、改善策を導き出して対応させて頂いております。皆様からのご意見を今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ☆編集後記☆

広報誌をご覧いただきありがとうございました。新年度に入りまして、当院も各部署に配置された新入職員が懸命に先輩方の指導を受けている姿が見られるようになりました。また、編集委員会も新体制となりました。不慣れではございますが紙面の充実を目指して励んでまいりますので、ご一読いただければありがたいです。

（編集委員 西川）

※本掲載分の個人名・団体名につきましては個人情報保護法に基づき、本人またはご家族の同意を得て掲載されております。



医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

〒899-5241

始良市加治木町木田4714

TEL 0995-62-0001（代）

FAX 0995-62-3778

URL <http://www.gyokushoukai.com/>

診療科目

- 内科（人工透析含む） ●消化器科 ●泌尿器科
- 耳鼻咽喉科 ●リハビリテーション科 ●歯科

